

那珂川町の文化財

(I)



妙法寺2号墳出土・三角縁神獸鏡

1982年3月31日

那珂川町教育委員会

序

那珂川町は、中央を流れる那珂川によって造られた平野部と背振山を中心とする山々を持ち、自然の環境にめぐまれた町であります。

本町ではまた、歴史的な遺産も多く残り、一万年以上も脈々と営まれ続けた我々の先人の足跡が地中に、あるいは建造物として、また大きく育った樹木として残っております。今、我々はこのような先人の貴重な遺産を我々の代で消し去ってしまうことなく、子々孫々にまで伝えていく必要があるのではないのでしょうか。

このたび、当教育委員会では皆様の文化財保護への更なる御協力を賜りたく文化財地図を発行することになりました。皆様の御活用に資することができますれば幸いです。

尚、この地図の遺跡の箇所あるいは近接する場所で土木工事や住宅建築等の工事をされる場合は、文化財保護法第57条の2に基づき、工事にとりかかる60日前までに文化庁長官宛に届けなければなりません。なにとぞ御協力賜りますようお願い申し上げます。

昭和57年 3月31日

那珂川町教育委員会

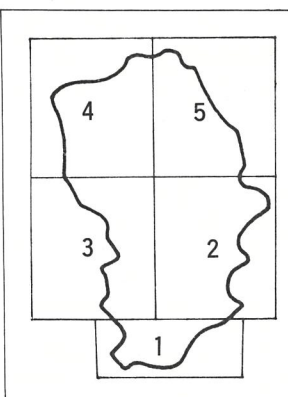
教育長 井 上 馨

凡 例

1. この地図には那珂川町にある文化財の所在地を収録した。
2. 記載時点は昭和57年3月31日であり、今後増加する可能性がある。
3. 赤色は遺跡、天然記念物の所在地及びその範囲を示したものである。
4. 指定文化財は番号をゴシックで示した。
5. 記号は以下に示すとおりである。

- | | | | |
|-----|------------|---------|--------|
| ○ ○ | 散布地・集落跡 | ● ● ● ● | 古墳・古墳群 |
| ◀ ▶ | 前方後円墳 | ◀ ▶ | 前方後方墳 |
| 卍 | 寺院・寺院跡 | 卍 | 神社・神社跡 |
| □ | 城跡 | ⌋ | 石塔 |
| × | その他(天然記念物) | | |

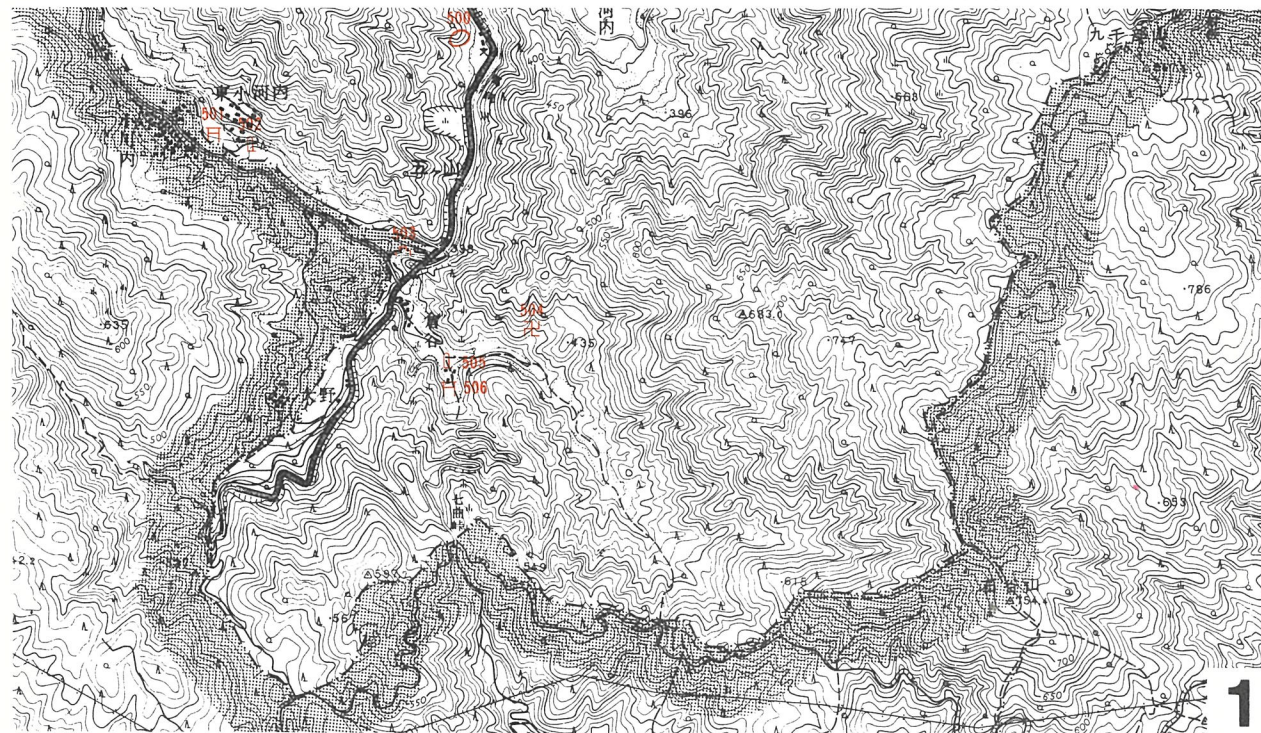
(各地図の位置)

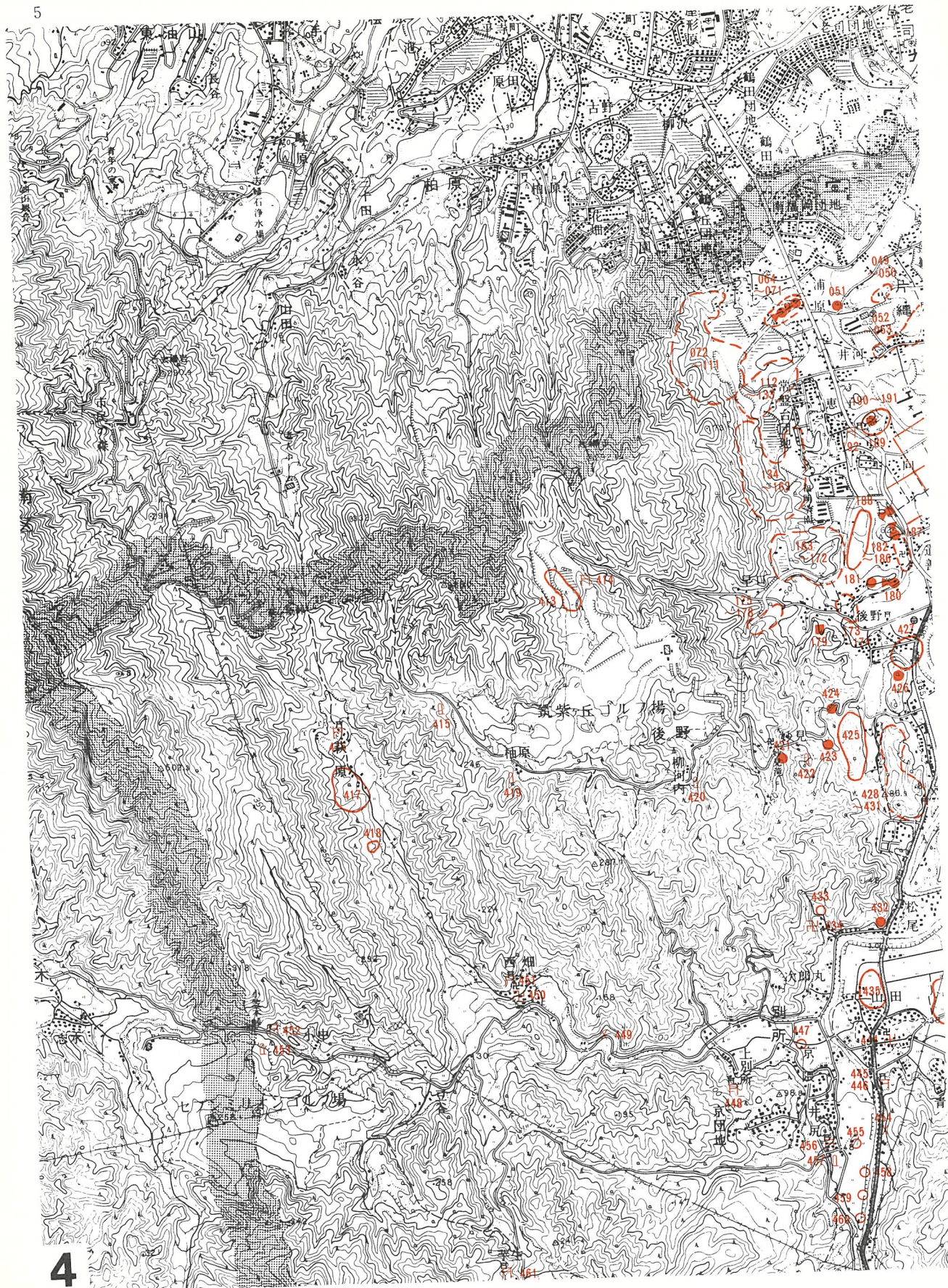


文化財保護法（抜粋）

第五十七条 土地を発掘して埋蔵物である文化財（以下「埋蔵文化財」という。）について調査しようとする者は、文部省令の定める事項を記載した書面をもって、発掘に着手しようとする日の三十日前までに文化庁長官に届け出なければならない。但し、文部省令の定める場合は、この限りでない。

第五十七条の二 土木工事その他埋蔵文化財の調査以外の目的で、貝づか、古墳その他埋蔵文化財を包蔵する土地として周知されている土地（以下「周知の埋蔵文化財包蔵地」という。）を発掘しようとする場合には、前条第一項の規定を準用する。この場合において、同項中「三十日前」とあるのは、「六十日前」と読み替えるものとする。





番号	名称	種別	所在地	時代	遺跡の概要	備考
001	油田遺跡	墓地	筑紫郡那珂川町大字中原字油田	古墳時代	微高地、溝状遺構、甕棺墓	消滅「新幹線3」
002	久保遺跡	散布地	字久保、浦田	弥生～奈良時代	台地、大溝、杭列、土器(弥生・須恵器)、瓦他	消滅「新幹線13」
003	鳥ノ巣遺跡	古墳?	字鳥ノ巣	鎌倉時代?	台地、溝状遺構、石器、土器(縄文前・晩期)	「
004	立石遺跡	古墳?	字立石	鎌倉時代?	台地、溝状遺構、方形周溝、石器、須恵器	「
005	井手ノ原遺跡	古墳?	字井手ノ原	縄文時代	緩斜面、溝状遺構、石器、土器(後・晩期)、須恵器	消滅「新幹線8」
006	深原遺跡	古墳?	字井手ノ原	縄文時代	緩斜面、石組跡32基、円形竪穴遺構	消滅「新幹線5」
007～038	観音山中原血群第1号墳～第32号墳	円墳	字井手ノ原他	古墳時代	径10m前後、横穴式石室、人面、獣形土製品、釘輪金具、鞍金具、飾金具他	「
039	中原土塚墓群	墓地	大字中原	「	山麓、10基(木棺、磯床他)、耳環、水晶垂飾玉、雉	「
040～044	野口第1号墳～第5号墳	円墳	大字片縄字野口	「	丘陵、土塚墓、箱式石棺	「野口遺跡」
045	野口遺跡	集落跡	「	弥生～古墳時代	丘陵、竪穴住居5、井戸状遺構2、ヒット群	「野口遺跡」
046	観音堂古墳	前方後円墳	字観音堂	古墳時代	「	「恵子若山遺跡」
047	下浦古墳群	円墳群	字下浦	「	「	消滅
048	権現塚古墳	円墳	字観音堂	「	「	「
049～050	下原第1号墳～第2号墳	「	字下原	「	「	「
051	うめぼし山古墳	「	「	古墳時代	「	「
052～063	井河第1号墳～第12号墳	「	字井河	「	「	「
064～071	小丸第1号墳～第8号墳	前方後円墳	字小丸	「	「	「
072～111	浦の原第1号墳～第40号墳	「	字浦の原	「	丘陵、横穴式石室	消滅
112～133	丸の口第1号墳～第22号墳	「	字丸の口	「	「	「
134～162	白石第1号墳～第29号墳	「	字白石	「	「	「
163～172	荒平池第1号墳～第10号墳	「	大字後野字大万寺裏	「	「	「
173～174	開畑古墳群	「	字開畑	「	「	「
175～178	国太子古墳群	「	字国太子	「	「	「
179	イボリ古墳	方墳?	字イボリ	「	丘陵、段築	「
180	大万寺前第1号墳	前方後円墳	字大万寺前	「	丘陵、横穴式石室	「
181	大万寺前第2号墳	円墳	大字後野字大万寺前	「	「	「
182～186	油田第1号墳～第5号墳	方墳	大字道善字油田	「	丘陵、木棺直葬、石棺、鏡片、鉄鏃、櫛	「
187	妙法寺古墳群	前方後円墳	大字恵子字妙法寺	「	丘陵、横穴式石室、割竹形木棺	妙法寺古墳群町調査報告7集
188	大万寺裏	散布地	大字後野字大万寺裏	「	扇状地、土師器、須恵器	「
189	若山古墳	円墳	大字恵子字若山	「	丘陵、鏡、土器	「恵子若山遺跡」
190	若山遺跡	方形周溝墓	「	「	丘陵、方形周溝墓、石蓋土埴、粘土埴	「
191	恵子銅矛出土地	「	「	「	丘陵、銅矛3	「
192	春日神社	神社	字向	「	「	「
193	天神社	神社	大字今光字松本	江戸時代	平地、享和元年(1801)11月の銘	「
194	松本遺跡	散布地	「	弥生～中世時代	「	「
195	今光遺跡	「	字宗石他	「	微高地	「
196	宗石遺跡	「	「	縄文～中世時代	微高地、甕棺、住居跡他	「
197	東急団地遺跡	集落跡	「	「	微高地、住居跡、掘立柱建物、溝	「
198	中牟田遺跡	散布地	大字中原字中牟田	縄文時代	段丘、晩期土器	「
199	松本遺跡	「	大字松本	縄文～中世時代	「	「
200	那珂川B地点	「	大字瀬戸口	弥生～中世時代	段丘、甕棺、中世土埴墓他	「
201	松木京塚	「	「	平安時代	「	「
202	那珂川10地点	集落址	「	古墳時代	段丘、竪穴住居跡	「
203	猿田彦命	「	大字松本字本村	「	「	「
204	「	「	大字中原字皿	「	「	「
205	潮井川古墳	円墳	字カイネ	古墳時代	段丘、須恵器	「
206	大町遺跡	散布地	大字松本字大町	弥生時代	段丘、甕棺等	「
207	合政遺跡	「	字合政	弥生～中世時代	弥生後期溝、弥生時代～中世溝	「
208	春田遺跡	「	大字五郎丸字春田	「	「	「
209	五郎丸遺跡	「	字扇前、前田	「	「	「
210	仲遺跡	「	大字仲字村、字宮の前、字地余	「	「	「
211	現人神社	神社	大字仲字村	「	「	「
212	猿田彦命	「	「	「	「	「
213	エゲ山古墳	円墳	大字松本字エゲ	古墳時代	「	「
214	鳥巢3地点	散布地	大字中原字鳥巢	縄文～中世時代	「	「
215	鳥巢2地点	「	「	中世時代	段丘、方形周溝、大溝、青磁、白磁	「
216	立石遺跡	「	字立石	「	「	「
217	大徳寺	寺院	字立の口	「	「	「
218	深原遺跡	散布地	大字中原字深原	縄文時代	扇状地、石組跡、円形竪穴	「
219	ツタカ尻遺跡	住居跡	字ツタカ尻	「	丘陵、竪穴住居、土埴	「ツタカ尻遺跡」
220	瀬戸遺跡	散布地	大字松本字瀬戸	「	段丘	「
221	カクチが浦遺跡	「	字カクチが浦	「	「	「
222～225	王塚第1号墳～第4号墳	円墳	大字王塚	古墳時代	「	「
226～228	カクチが浦第1号墳～第3号墳	「	大字松本字カクチが浦	「	丘陵	「
229～245	炭焼第1号墳～第17号墳	方形周溝墓	大字仲字炭焼	「	丘陵、木棺、石棺、石蓋土埴、鉄片、鉈、鉄剣、刀子、鉄鏃、有孔円盤、人骨	「

番号	名称	種別	所在地	時代	遺跡の概要	備考
246	猿田彦大神	神	筑紫郡那珂川町大字東原字畑工	弥生～中世時代	「	丘陵
247	安徳遺跡	散布地	大字安徳	弥生時代	「	段丘
248	原田銅矛出土地	「	字原田	弥生時代	「	段丘、伝(銅矛12本出土)
249	安徳大塚古墳	前方後円墳	字大塚	古墳時代	「	丘陵、地輪、葬石、周溝
250	大塚第2号墳	円墳	「	「	「	「
251～263	中原Ⅳ第1号墳～第13号墳	円墳	大字中原字荒巻他	「	「	丘陵、竪穴式石室、横穴式石室、滑石製白玉、刀子
264～267	中原Ⅴ第1号墳～第4号墳	円墳	字頭無他	「	「	丘陵、横穴式石室
268～289	中原Ⅰ第1号墳～第22号墳	円墳	「	「	「	「
290～303	中原Ⅱ第1号墳～第14号墳	円墳	字立ノ口他	「	「	「
304～314	平石Ⅰ第1号墳～第11号墳	「	大字松本字平石	「	「	「
315～321	平石Ⅱ第1号墳～第7号墳	「	「	「	「	「
322～339	平石Ⅲ第1号墳～第18号墳	「	「	「	「	「
340～348	平石Ⅳ第1号墳～第9号墳	「	「	「	「	「
349～355	平石Ⅴ第1号墳～第7号墳	「	「	「	「	「
356～363	瀬戸Ⅰ第1号墳～第8号墳	「	大字下梶原字瀬戸	「	「	「
364～370	瀬戸Ⅱ第1号墳～第7号墳	「	「	「	「	「
371～379	瀬戸Ⅲ第1号墳～第9号墳	「	「	「	「	「
380	内河遺跡	散布地	大字上梶原字内河	縄文時代	「	丘陵、池の周囲に土器・黒ヨウ石散布
381	見返り燈籠	燈籠	「	「	「	丘陵、梅鉢の刻印
382	瀬戸第4地点	散布地	大字松本字瀬戸	縄文時代	「	丘陵、押型文土器
383	梶原のギンモクセイ	天然記念物	大字梶原字前	「	「	「
384	天神社	神社	大字下梶原字大戸	「	「	菅原道真を祀る
385	猿田彦板	板	「	「	「	「
386	前遺跡	散布地	「	「	「	「
387	楠本遺跡	「	大字上梶原字楠本	縄文～古墳時代	須恵器、土師器、黒ヨウ石	「
388	猿田彦命板	板	字大坪	古墳～中世時代	段丘、須恵器、青磁	「
389	八雷神社	神社	字楠本	江戸時代	寛政6年4月の銘	「
390	大坪遺跡	散布地	字大坪	縄文～中世時代	段丘、須恵器、土師器、黒ヨウ石、青磁	「
391	梶原景時記念碑	碑	字平蔵	中世時代	丘陵、伝(梶原景時墓?)	「
392～396	平蔵第1号墳～第5号墳	円墳	「	古墳時代	丘陵、横穴式複式石室、鉄刀、玉類、土器	「
397	平蔵遺跡	散布地	「	古墳～中世時代	「	「
398	那珂川南中遺跡	集落跡	「	奈良時代	丘陵、鍛冶場跡他	「
399～401	龍頭第1号墳～第3号墳	円墳	大字安徳字龍頭	古墳時代	「	「
402	猿田彦大神	神	字原田	「	「	「
403	トドロキの岡	「	字龍頭	「	「	「
404	裂田溝	溝	「	「	「	「
405	裂田神社	神社	「	「	「	「
406	安徳天皇神社	神社	字上原	「	「	安徳天皇を祀る
407	安徳台遺跡	散布地	字上原、ハブ他	縄文～古墳時代	石鏃	「
408	猿田彦大神板	板	字風早	江戸時代	寿永4年銘	「
409	「	「	「	「	「	「
410	風早遺跡	散布地	「	古墳～中世時代	段丘	「
411	風早神社	神社	「	「	丘陵、風拝神社	「
412	風早古墳	円墳	「	古墳時代	「	「
413	早口遺跡	散布地	大字後野字早口	縄文時代	「	「
414	山神社	神社	「	「	「	「
415	五穀神社	神社	大字西畑字萩ノ原	「	「	「
416	天神社	神社	「	「	「	「
417	萩ノ原遺跡	散布地	「	「	「	「
418	古屋敷遺跡	住居跡?	「	「	「	「
419	庚申板	板	大字後野字柚原	「	「	「
420	庚申尊	「	字柳河内	江戸時代	元明元年小春吉日	「
421	古畑古墳	円墳	字古畑	古墳時代	「	「
422	庚申板	板	字妙見	「	「	「
423	狐谷第1号墳	円墳	字狐谷	古墳時代	林道建設の半壊	「
424	第2号墳	「	「	「	「	「
425	鳥越遺跡	散布地	大字後野字鳥越	「	「	「
426	堂の前古墳	円墳	大字西畑字堂の前	「	「	「
427	堂の前遺跡	甕棺墓	「	弥生時代	段丘	「
428～431	熊本第1号墳～第4号墳	円墳	字熊本	古墳時代	丘陵	「
432	松尾古墳	「	大字別所字松尾	古墳時代	石室半壊	「
433	古田家老屋敷跡	居館跡	字次郎丸	「	礎石有り	「
434	松源寺跡	寺院跡	「	「	「	「

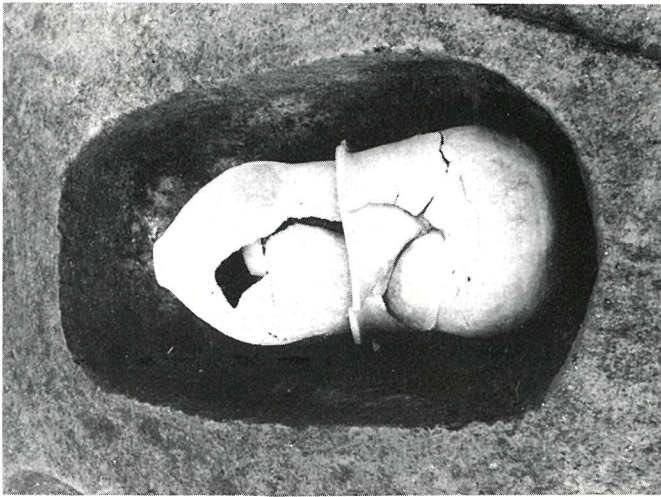
番 号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
435	西 遺 跡	散 布 地	筑紫郡那珂川町大字山田字西	古墳～中世時代		
436	小 柳 遺 跡	"	" " " 字小柳	"		
437	片 島 遺 跡	"	" " " 字片島	"		
438	安 德 城 跡	城 跡	" " " 大字安德字龍頭	中 世 時 代	山頂、山麓に土塁あり	
439	高 津 神 社	神 社	" " " 大字山田字柿の塔	"		
440	寺 山 田 遺 跡	散 布 地	" " " 字寺山田	古墳～中世時代	段丘	
441	猿 田 遺 産	板 碑	" " " "	"		
442	少 武 景 資 の 墓	墓 地	" " " "	"	酒井吉臣氏所有	
443	古 文 書	"	" " " 字茶湯	"		
444	浄 光 寺	寺 院	" " " "	"		
445	伏 見 宮	神 社	" " " "	"		
446	岩 戸 神 樂	無形文化財	" " " "	"	昭和29年12月13日県指定	
447	経 塚	経 塚	" " " 大字別所字京塚	近 世 時 代	安永7年浄土三部妙典の銘	
448	山 神 社	神 社	" " " 字山の神	"		
449	三 好 の 滝	天然記念物	" " " 大字西畑字三好	"		
450	教 德 寺	寺 院	" " " 字徳富	近 世 時 代	享保12年銘の鐘	
451	大 山 祇 神 社	神 社	" " " "	"		
452	山 神 社	"	" " " 字小中	"		
453	塞 ノ 神	板 碑	" " " "	"		
454	鯉 釜 ・ 鯉 淵	天然記念物	" " " 大字山田	"		
455	一 の 堰 手	"	" " " "	"		
456	乙 子 神 社	神 社	" " " 大字井尻	"		
457	庚 申 塔	板 碑	" " " "	"		
458	や ま し お 石	天然記念物	" " " 大字山田字塔の原	"		
459	馬 の 背 石	"	" " " "	近 世 時 代	天正14年？	
460	千 人 塚	墓 地	" " " "	"		
461	山 神 社	神 社	" " " 大字西畑字芋生	"		
462	一 応 寺	寺 院	" " " 大字南面里字辻	"	扇状地	
463	猫 城 跡	城 跡	" " " 大字不入道字猫城	近 世 時 代	山頂、一の岳城の出城	
464	知 恵 の 文 珠	"	" " " 字中寺	"		
465	寺 倉 跡	寺 院 跡	" " " 大字寺倉字川床	"		
466	庚 申 塔	板 碑	" " " 大字南面里字中畝	"		
467	大 山 神 社	神 社	" " " "	"		
468	正 応 寺 跡	寺 院 跡	" " " "	室 町 時 代	元禄12年（1569） 岩の北面に仏の座像	
469	大 日 如 來 磨 崖 仏	"	" " " 字戸板	"	丘陵	
470	山 神 社	神 社	" " " "	近 世 時 代	山頂、天文19年築城	
471	鷲 ヶ 丘 城 跡	城 跡	" " " 字五野	"	添田家文書	
472	古 文 書	"	" " " 大字不入道字山中	"		
473	山 中 の ア ゼ ビ	天然記念物	" " " "	"		
474	古 屋 敷 跡	居 館 跡	" " " 字市の原	"		
475	不 入 道 観 音	寺 院	" " " 字滝ノ口	"		
476	庚 申 塔	板 碑	" " " 大字埋金字埋金	"		
477	猿 田 彦 神	"	" " " 大字成竹字扇尾	江 戸 時 代	寛政6年銘	
478	成 竹 の モ チ ノ 木	天然記念物	" " " "	"		
479	南 林 寺 鐘 樓 跡	寺 院 跡	" " " 大字市ノ瀬字日吉前	鎌 倉 時 代	丘陵	
480	南 林 寺 磨 崖 仏	"	" " " "	"	丘陵、14体ほどあり	
481	南 林 寺 跡	寺 院 跡	" " " "	"	丘陵、宝篋印塔3基あり	
482	日 吉 神 社	神 社	" " " "	"		
483	日 吉 神 社 の 楊 梅	天然記念物	" " " 大字市ノ瀬	"		
484	日 吉 神 社 の 黄 玉 樹	"	" " " "	"		
485	石 像	"	" " " 字猿山	"	滝中の洞穴にある	
486	四 郎 ・ 五 郎 池 遺 跡	散 布 地	" " " 大字埋金字四郎五郎	縄 文 時 代	土器、石鏃	
487	一 ノ 岳 城	城 跡	" " " 大字五ヶ山字上亀尾	近 世 時 代	山頂	
488	山 田 家 老 屋 敷 跡	居 館 跡	" " " "	"		
489	虎 ヶ 岳 城 跡	城 跡	" " " 字御所	"	山頂	
490	釣 垂 の ヒ ノ キ シ ダ	天然記念物	" " " 大字市の瀬字釣垂	"		
491	不 動 岩	"	" " " "	"		
492	御 所 の 原	居 館 跡	" " " 大字五ヶ山字御所の原	"	有力武士の屋敷跡？	
493	猿 田 彦 大 神	板 碑	" " " "	"		
494	ク	"	" " " "	"		
495	網 取 遺 跡	古貨幣埋蔵地	" " " 字網取	中 世 時 代	素焼壺に古銭が約300枚入る	
496	山 神 社	神 社	" " " "	"		
497	五 輪 の 塔	古 墓	" " " "	中 世 時 代		
498	火 縄 銃	"	" " " 字桑野河内	近 世 時 代	不入道、梅木繁隆氏保管	
499	猿 田 彦 彦	板 碑	" " " "	"		
500	代 官 屋 敷 跡	居 館 跡	" " " "	"		
501	大 山 神 社	神 社	" " " 字東小河内	"		
502	猿 田 彦 大 神	板 碑	" " " "	"		
503	白 上 城 跡	城 跡	" " " "	近 世 時 代	一ノ岳城の出城	
504	尼 寺 跡	寺 院 跡	" " " 字宮ノ内	"		
505	猿 田 彦 大 神	板 碑	" " " 字大野	"		
506	山 神 社	神 社	" " " "	"		
507	道 善 条 里	"	" " " 大字道善字八ノ坪他	奈良～平安時代	平地、「九ノ坪」「六ノ坪」「地余」「五反田」	
508	安 德 条 里	"	" " " 大字安德字八ノ坪他	"	平地、「六反田」「大坪」「地余」	
509	中 原 遺 跡 群	散 布 地	" " " 大字中原	弥生～奈良時代		
510	地 余 遺 跡 群	"	" " " 大字今光字地余	"	古式土師器	

主 な 遺 跡

まつ の き

194 松 木 遺 跡

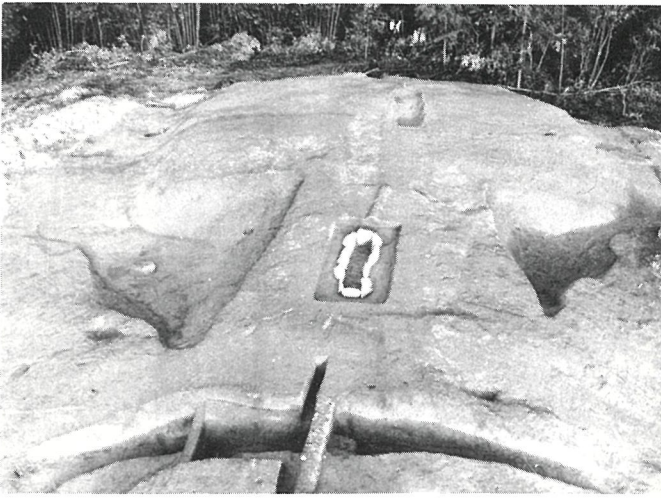
合政、松木、今光とのびる微高地上に営まれた弥生時代（2200年前）から鎌倉・室町時代（約900年前）にわたる複合遺跡である。安德北小学校近くでの調査では、弥生時代の甕棺墓と古墳時代（1700年前）の住居址が見つかり、多数の土器が出土した。写真は5号甕棺である。



みょうほう じ

187 妙法寺古墳群

全長18mの前方後方墳である。昭和55年に調査を行い、三角縁神獣鏡等、重要な遺物が出土した。古墳の築造時期は4世紀後半であるが、出土した三角縁神獣鏡は邪馬台国の女王卑弥呼が中国の魏からもらったとされる種類のもので、この地と邪馬台国とのつながりを証明するものとして研究がまたれる。



かんの ん やま

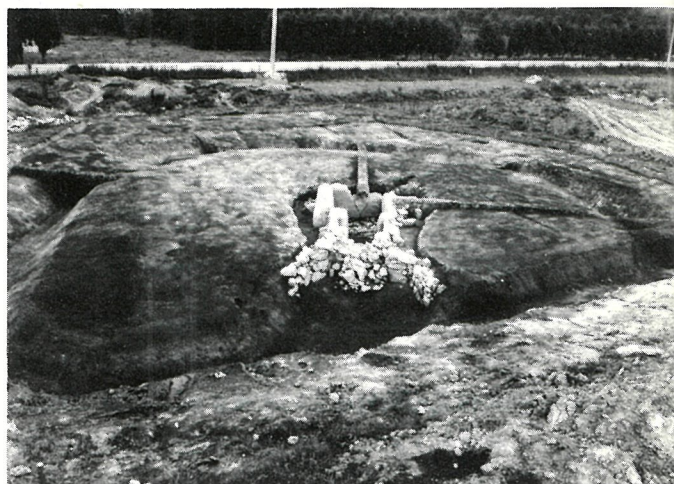
251 観音山古墳群

那珂川町をとりまく山麓には例外なく古墳が営まれ、その数は500を越える。観音山古墳群は、那珂川の東南にある観音山山麓に営まれた総数 260基の大古墳群である。これまでに約50基ほどが調査され、いろんな珍しい遺物が出土した。この古墳の主は豪族級の人物で、古墳の数を考えると当時(約1400年前)那珂川町は、相当数の人口が集まっていたと考えられる。



392 平蔵古墳群

6世紀後半から7世紀にかけて営まれた古墳群で、現在は南中学校となっている。この地域では珍しい複室をもつ古墳で、広い前庭をもつものとしては西日本でも例がない。ここからは直刀一振（写真）が出土し、この刀の柄には銀線を巻いていて、この刀も正倉院御物に例をみるだけである。



平蔵1号墳出土直刀



045 野口遺跡

古墳と住居址が見つかった。古墳からは首飾りや櫛、小刀、腕輪等が出土した。5世紀後半から6世紀に築造され、また住居址は6世紀後半のものである。写真は2号墳から出土した首飾りである。

479 南林寺跡

南林寺は鎌倉時代に建てられた禅寺と推測されている。往時は広大な社領を有していたらしいが現在は民家や山林、田畑となり僅かに鐘楼の跡と墓3基が残っている。

九州探題は肥前の国、松尾山に居を構え関東からこの地に封ぜられた。千葉氏が肥前で戦いに敗れ、一ノ岳に居城を構え、南林寺を菩提寺と定めたものであろう。又この3基は法篋印塔でめずらしい。



480 南林寺磨崖仏

鎌倉時代に建立されたと推測される禅寺。風頭山南林寺（廃寺）のうら山一帯に磨崖仏が14体程ある。

十五童子、大黒様があり、線彫りで高さ1 m 95cmの巨大な像で、左に八幡大明神、右に春日大明神の文字がみえる。



383 梶原のギンモクセイ

胸高幹周4 m、10月ごろ小白花を葉のつけ根にびっしりつけ、特有の強烈な芳香を発する。

（昭和37年7月26日 県指定）



473 山中のアセビ

樹高2.9m、胸高周1.1mを測り、初春のころスズランに似た白い小さな花を咲かせる。

（昭和41年11月1日 県指定）





いわと 446 岩戸神楽

主に7月14日、伏見神社(山田)の祇園祭に奉納されている神楽である。黒田藩政時代は、近隣の神社の神主達が演じていたいわゆる社家神楽であり、明治になって社家では神楽を演じなくなった。伏見神社の氏子が集まり、明治10年代に「珍楽社」という神楽団体をつくり存続をはかったため現在まで残されてきた。

岩戸神楽という名前のごとく、西日本の主流をしめている出雲系統の神楽で、楽庭を祓う舞、天孫降臨、天の岩戸、神功皇后等の神話に由来する物語的な舞を主体としながらも、その所々に観客と一緒に進んで進行する見せ場の多い舞を取り入れバラエティーに富んだ構成を持っている。那珂川の水源地に近いこともあり、黒田藩の助力があったものと考えられるが、筑前地方における近世神楽の最も典型的な神楽を伝えるものとして重要である。前原町高祖、福岡市西区田島、筑紫野市山家等に残る神楽は、この岩戸神楽の影響によるものであらうと考えられている。(昭和29年12月13日 県指定)

昭和57年3月31日 初版発行

編集・発行 那珂川町教育委員会

印刷・製本 (株)大里印刷センター